

2022年5月30日  
 沖縄電力株式会社  
 沖縄新エネ開発株式会社



## 沖縄電力グループ「かりーるーふ」の導入拡大に対する 株式会社沖縄銀行との融資契約締結について ～脱炭素社会の実現に向けた包括連携にかかる取り組み～

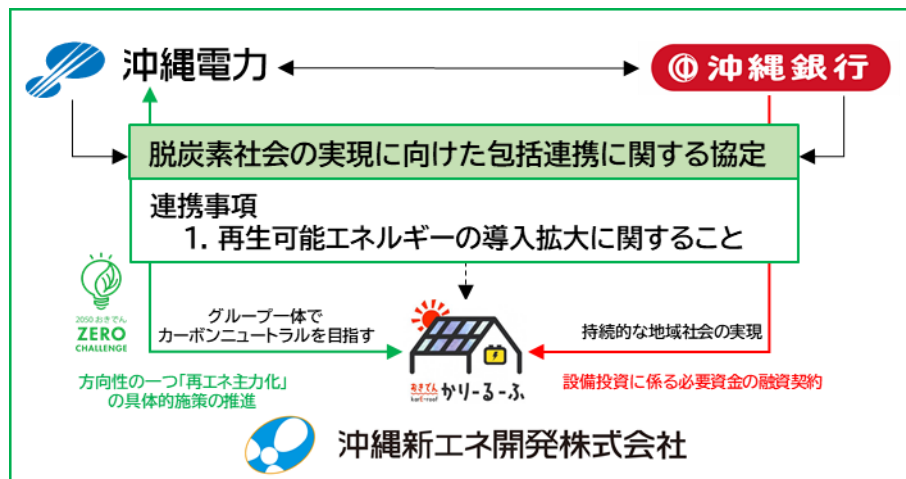
沖縄電力グループの沖縄新エネ開発株式会社(代表取締役社長:成底 勇人、以下、沖縄新エネ開発)は、このたび、株式会社沖縄銀行(頭取:山城 正保、以下、沖縄銀行)と沖縄電力株式会社(代表取締役社長:本永 浩之、以下、沖縄電力)が2021年9月に締結した「脱炭素社会の実現に向けた包括連携に関する協定」に基づき、沖縄銀行との間で「かりーるーふ※」(沖縄電力グループのPV-TPO事業の名称)の導入拡大に向けた設備投資に係る必要資金の融資契約を締結いたしました。

「かりーるーふ」は、沖縄電力グループが2050年カーボンニュートラルを目指していくための大きな方向性の一つ、「再エネ主力化」に向けた具体的な施策であり、今後の持続可能なエネルギーシステムの構築、安定供給および地球温暖化対策の実現に貢献するものです。

沖縄銀行を含むおきなわフィナンシャルグループでは、経営理念である「地域密着・地域貢献」を実践し、気候変動・環境問題等を重要な課題として捉え、金融をコアとした総合サービスグループとして総力を発揮して、地域社会価値、経済価値の向上を図る持続可能な経営を目指しており、今回の融資契約締結はその取り組みの一つとなります。

沖縄電力グループは、これまで、総合エネルギー事業者として、地球温暖化対策を優先し対応すべき重要な経営課題の一つに掲げ、積極的に取り組んできました。CO2排出ネットゼロの実現は、水力・原子力発電の開発が困難かつ小規模独立系統の沖縄エリアにおいては、本土よりも選択肢が限られるため、極めて果敢な挑戦となりますが、今回の沖縄銀行との融資契約締結を始めとする地元企業等との連携を通じ、更なる取り組みを推進してまいります。

※「かりーるーふ」<PV-TPO(Photovoltaic Third-Party Ownership)第三者所有モデル>  
 太陽光発電設備と蓄電池を初期投資ゼロで設置し、発電した電気をお客さまに販売するサービス。ご検討から導入、メンテナンス、撤去まで沖縄新エネ開発がワンストップで対応。



【かりーるーふの導入状況】  
 (2021年度)

- ・太陽光発電設備:  
 約836kW
- ・CO2排出削減量:  
 約826t-CO2/年